

◆乳幼児健診日程◆

	日付・受付時間	会 場	対 象
4 か 月 児 健 診	6月4日(木) 13:15～13:30	市民会館	2020年(令和2年) 1月生まれ
10 か 月 児 健 診	6月4日(木) 13:30～13:45	市民会館	2019年(令和元年) 8月生まれ
1歳6か月児健診	6月11日(木) 13:15～13:30	市民会館	2018年(平成30年) 9月、10月、11月生まれ
5 歳 児 健 診	6月25日(木) 13:15～13:30	市民会館	2015年(平成27年) 2月、3月生まれ

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、延期することがあります。
その際は個別に通知します。

- ※ 子どもの体調の悪い場合は延期しましょう。
- ※ 母子健康手帳を忘れずに。
- ※ 健診案内時に同封している問診票を事前に記入してお持ちください。



◆年に1回、特定健診を受診しましょう！◆

《巡回型健診日程(6～7月分)》

実施日	実施場所 受付時間	特定 健診	胸部 レント ゲン	胃 がん	子宮 がん	大腸 がん	骨密度	乳がん	
								マンモ	超音波
6月27日(土)	青江小学校	○	○	○	○	○	○	○	○
7月 5日(日)	津久見市民会館	○	○	○	○	○	○	○	○
7月 8日(水)	日見公民館	○	○			○	○		
7月15日(水)	網代真珠作業所	○	○			○	○		

※6月13日(土)保戸島地区集会所での特定健診につきましては、中止(日程調整中)といたします。
※新型コロナウイルス感染拡大予防のため、延期することがあります。
その際は個別に通知します。

- ※特定健診を受診される方は、必ず、**受診券・保険証**をお持ちください。
- ※がん検診を受けられる方は、当日会場にお越しください。**乳がん検診のみ予約が必要**です。健康推進課までお電話ください。(82-9523)
- ※特定健診・胃がん検診を受診される方は、前日の夜9時以降、検診日の朝を含め何も食べられません。検査2時間前までは、コップ2杯程度の水は飲んで構いません。疾患による薬の服用は、検査の2時間前までに水または白湯で済ませてください。たばこも吸わないでください。
- 対象年齢や個人負担金・注意事項に関しては、健康推進課までお問い合わせください。

●申込・問い合わせ先 / 健康推進課 ☎82-9523

保健だより -No.284-



◆高齢者肺炎球菌ワクチン定期接種について◆

高齢者肺炎球菌ワクチンを接種したことがない方を対象に、1人1回、定期接種の機会を設けています。

【接種期間】 令和2年4月1日～令和3年3月31日

【令和2年度の定期接種対象者】

●今までにこのワクチンを接種したことがない方(自費接種の場合も対象外です)

●令和2年度中(令和3年4月1日まで)に以下の年齢になる方

- ・ 65歳：昭和30年4月2日 ～ 昭和31年4月1日 生まれの方
- ・ 70歳：昭和25年4月2日 ～ 昭和26年4月1日 生まれの方
- ・ 75歳：昭和20年4月2日 ～ 昭和21年4月1日 生まれの方
- ・ 80歳：昭和15年4月2日 ～ 昭和16年4月1日 生まれの方
- ・ 85歳：昭和10年4月2日 ～ 昭和11年4月1日 生まれの方
- ・ 90歳：昭和 5年4月2日 ～ 昭和 6年4月1日 生まれの方
- ・ 95歳：大正14年4月2日 ～ 大正15年4月1日 生まれの方
- ・ 100歳：大正 9年4月2日 ～ 大正10年4月1日 生まれの方

※1)60歳以上65歳未満の者であって、心臓、腎臓、若しくは呼吸器の機能又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能に障害を有する方も対象です。(身体障害者手帳1級相当)。

【注意事項】

- ・ 健康保険証または生活保護受給証明書(※1に該当する方は身体障害者手帳)を持参し、医療機関の窓口に提示してください。
- ・ ワクチンの関係等もありますので、事前に医療機関へ電話予約してください。

◆「歯周病検診」のお知らせ◆

津久見市では、歯の喪失と生活習慣病の悪化を防ぐために、無料「歯周病検診」を実施しています。

この機会に検診を受けて、お口の健康を目指しましょう！

【対象者】

今年度(令和2年4月1日～令和3年3月31日)に40歳、50歳、60歳、70歳になる方

※誕生日を迎える前でも、期間中であれば1回限り実施できます。

【有効期限】

令和3年2月28日まで

【持っていくもの】

住所と年齢の確認できるもの
(保険証や運転免許証等)

※受けられる場合は、必ず事前予約をしてください。



◆5月31日～6月6日は禁煙週間です◆

▼喫煙による健康への影響

たばこの煙にはニコチン、一酸化炭素、タール等の有害物質が多数含まれており、たばこを吸うと、がんや虚血性心疾患、慢性閉塞性肺疾患、胃潰瘍などの病気で死亡するリスクが高くなります。
また、自分は吸っていないくても、喫煙者と一緒にいるだけで少量のたばこを自分で吸ったのと同じような状態になってしまいます。

▼未成年の喫煙

喫煙開始年齢が早いほど、ニコチン依存に陥りやすく、あとで禁煙しようとしてもやめにくくなります。また、14歳以下で吸い始めた場合はがんや虚血性心疾患で死亡するリスクが高まるといわれています。

2020年、受動喫煙のない社会を目指して
「たばこの煙から子ども達をまもろう」